④ GREEN LETTER
（FAX、e-mail 通信）㉗

FAX あるいは e-mail 通信として毎月初めに会員に色々な行事のお知らせ、ホットな芝地用登録農薬情報、その月の管理上の注意事項等を届けています。

⑤ ゴルフコース管理必携

昭和58（1983）年に初版が発行され、平成3（1991）年に改訂版を出し、平成21（2009）年には新版を発行しました。当研究所研修コースやゴルフコース管理士認定試験のテキスト、あるいはほかに類がないコース管理の座右の書として広く活用されています㉘。

GREEN LETTER　ターフドクター　一般財団法人　関西グリーン研究所
緊急連絡先（土曜9:30～12:00）080-8343-4954

FAX通信 No.124　2013.9　TEL:0797-72-4474　FAX:0797-74-1399　e-mail:labo-info@kgu-greenken.or.jp　ホームページ：http://www.kgu-greenken.or.jp

ベントグリーンの秋の更新作業

今年は異常な猛暑の連続と局地的豪雨という近来まれな夏の気候で、特にベンクロスベントグリーンのゴルフ場ではグリーンの維持管理も大変だったと思います。一刻も早くグリーンターフの回復を図ろうと、9月に入り少し暑さが和らげばコアリングと目砂を行いたいものですが、ベンクロスのグリーンでは特に気を付けてください。今まで、暑さがぶりかえしてグリーンがさらに悪くなったことが数多くあります。

秋にベントグラスの生育が良くなるのは根の活動が十分できるようになってからです。気温ではなく地温です。太いコアリングやしっかりした目砂は地温が25℃以下（平均地温）になってから行うのが良いでしょう。

ベントグラスは夏の暑さで弱っています。暑さが残っている間はベントグラスに大きな負担を強いる更新作業は控えてください。コアリングをする場合は6mmの細いタインを使用し、目砂は薄目砂ですり込みはしないことです。一般的にニューベントグラスは夏の衰弱もいくらか小さく、秋の回復も早いと思いますが、ベンクロスは決して急がないでください。

今月の地区別グリーン管理研究会

月/日(曜日)	地区	会場	テーマ
9/11（水）	大阪南	鶴丘CC	夏ダメージからの有効な手段、除草剤
9/12（木）	大阪北	伏尾GC	夏のグリーンダメージからの回復処理方法について
9/24（火）	京都	かさぎGC	ゴルフ場の樹木管理
9/24（火）	和歌山	紀州CC	雑草防除について
9/25（水）	兵庫東	宝塚けやきヒルCC	クラブ運営に合わせたコース管理のあり方について
9/27（金）	兵庫西	播磨CC	一年を振り返って
9/27（金）	兵庫中	東条湖CC	一年を振り返って

芝生管理者研修＜専門コース＞の募集

11～12月に、植物栄養管理、土壌・水管理、病害管理、雑草管理、新農薬、その他の内容ごとに2日間芝生管理責任者（グリーンキーパー相当）対象の芝生管理者研修＜専門コース＞を予定しております。締め切りは10月20日（日）で、詳しい内容が決まり次第、お知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

ゴルフコース管理士＜ゴールドクラス＞の更新について

更新の締切日は今年12月31日（火）です。ゴールドクラス取得者で更新に必要なポイント数（20ポイント）について疑問のある方は、当研究所（一宮）までお問い合わせ下さい。事務手続き上9月30日（月）までにお願いいたします。

先月の病害虫・雑草発生確認情報

赤焼病	兵庫東　奈良　兵庫中
炭疽病	兵庫中
ラージパッチ	奈良

9月の管理

□スルーザグリーンへの施肥：コウライシバ・ノシバは秋に施肥すれば芝生維持には問題ない。この時期の施肥で管理作業が大幅に増えることはないので十分施肥することが望ましい。ただし濃度障害による葉焼け症状を出さないように。

□害虫対策：8月に引き続きシバツトガ、スジキリヨトウ、コガネムシ、シバオサゾウムシ、チガヤシロオカイガラムシといった害虫被害に警戒が必要。

□秋のスズメノカタビラ対策：9月は発生前土壌処理剤の処理時期であるが、9月の気温が平年と違えばスズメノカタビラの発生時期も変わるので、コースの中で早くから発生する場所をよく観察し、散布適期をはずさないようにする。春にスズメノカタビラの発生が多かった場合は、11月頃に土壌処理剤と茎葉処理剤を混用して処理するのも1つの方法である。

□9月に注意すべき病害

【ベントグラス】

◇赤焼病：初期は黄色の小型の楕円形のパッチ、次第にパッチは赤みを帯び拡大していく。急激に進展するので、発生時は速やかに薬剤対応。残暑が厳しい場合は9月後半であっても注意が必要◇ピシウム病：葉は黒味を帯びて軟腐する。急激な進展はしにくいものの発生時は早めの薬剤対応が有効。◇炭疽病：初期は黄色だが徐々に赤みを帯び、縁がはっきりしない小型の不整形のパッチを形成。融合しながら拡大していく。赤焼病や細菌性病害との複合にも注意。◇細菌性病害：葉枯細菌病と褐条病が発生。褐条病は判別が難しいので判断に困った場合は研究所にご連絡を。日当たり、通風しの改善、刈高を上げるなどの耕種的防除が有効。予防的には有機銅剤の散布が有効。発生後は治療的な抗生物質剤（アグリマイシン-100）があるが、

アグリマイシン-100はベントグラスに登録はあるものの、その使用は生産圃場に限られている。一般のプレイヤーとの接触を避けるのが目的で、ゴルフ場ではナーセリー等での使用に限る。

◇葉腐病：ブラウンパッチ：降雨後に発生する事が多い。進展が早いので発生時は早めに薬剤対応。

【コウライシバ・ノシバ】

◇葉腐病（ラージパッチ）：降雨後に特に注意が必要。殺菌剤の散布の遅れにより冬に被害を持ち越さないように注意◇立枯病（ゾイシアデクライン）・ネクロティックリングスポット病：秋に再発する場合もある。2～3回の予防散布が必要になることが多く、本月末からが秋の予防散布の時期◇葉枯病：多発する場合や目立つ箇所では薬剤対応が必要。◇疑似葉腐病（象の足跡）：昨年発生し問題となった場所には薬剤散布。予防散布が効果的。

【ベントグラス、コウライシバ、ノシバ共通】

◇フェアリーリング病：先月に引き続き発生。水量が少ないと効果が減少する薬剤もあるので注意が必要。◇ダラースポット病：9月より再発する事が多い。ベントグリーンで発生した場合は早めの殺菌剤対応

※10月のベントグリーンでは炭疽病、葉枯細菌病、ダラースポット病が発生。コウライシバ・ノシバでは9月末から引き続きゾイシアデクラインとネクロティックリングスポット病の秋の予防散布の時期である。ラージパッチの発生にも注意が必要。

芝用登録農薬

＜登録変更農薬＞

変 ハプーン乳剤（アラクロール乳剤）：コウライシバにおけるヒメクグとケンタッキーブルーグラスにおける一年生雑草の追加

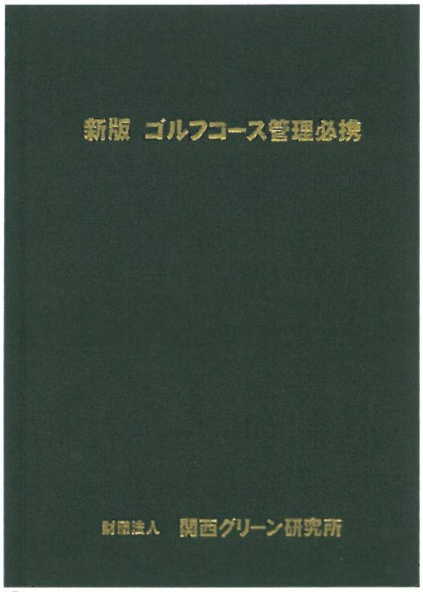
変 MCP ソーダ塩（MCPA ナトリウム塩液剤）：ケンタッキーブルーグラスにおける一年生及び多年生広葉雑草の追加

・大忠環境YJ式→CO_2で水を酸性に
・コラーゲン（アミノ酸液肥）オーロ・V (6.5-6-2) グローリア・K (6-3-9)
・アオコカット 細菌で水の処理
・酸素供給剤 サントO_2 (5-2-4)
・バイオパワー ・シルキーサンド ・防草シート
（有）大忠商会 0797-61-3397
大谷忠敏 090-5660-0872

雑草の悩み御相談下さい!!
新登場 スペクタクルF
信頼の クサレスDF
人気の グリーンケアDF
東洋グリーン株式会社 Tel:078-903-6776 http://www.toyo-green.com

Wavelle
雑草退散2013
ウィーデン
ハプーン

㉗



㉘

（10）ホームページ
http://www.kgu-greenken.or.jp

平成13（2001）年4月に開設し、芝生管理に役立つ新しい情報を公開しています㉙。

㉙